



天文ニュース(No.171)

8月16日明け方の木星食 2001年7月17日発行

8月16日の明け方、木星(-2等星)が月(月齢26)にかくされる木星食が、日本全国で見えます。木星食は、1994年12月以来7年ぶりです。

このときの月は月齢26で、図のように木星は月の東側の明るい縁にかくれ、月の西側の暗い縁から出てきます。

明石では、潜入時刻が午前3時2分ごろ、出現時刻が3時53分ごろです。

この現象は、肉眼でも見えますが、双眼鏡や望遠鏡があると見やすいでしょう。

望遠鏡で観察すると、木星の衛星も月にかくされていくようすが見えます。

木星は、見かけの直径が約32秒角ですので、木星の縁が月の縁に接してから、すっかりかくれるまでの時間は、50秒ほどです。また出現も同様です。

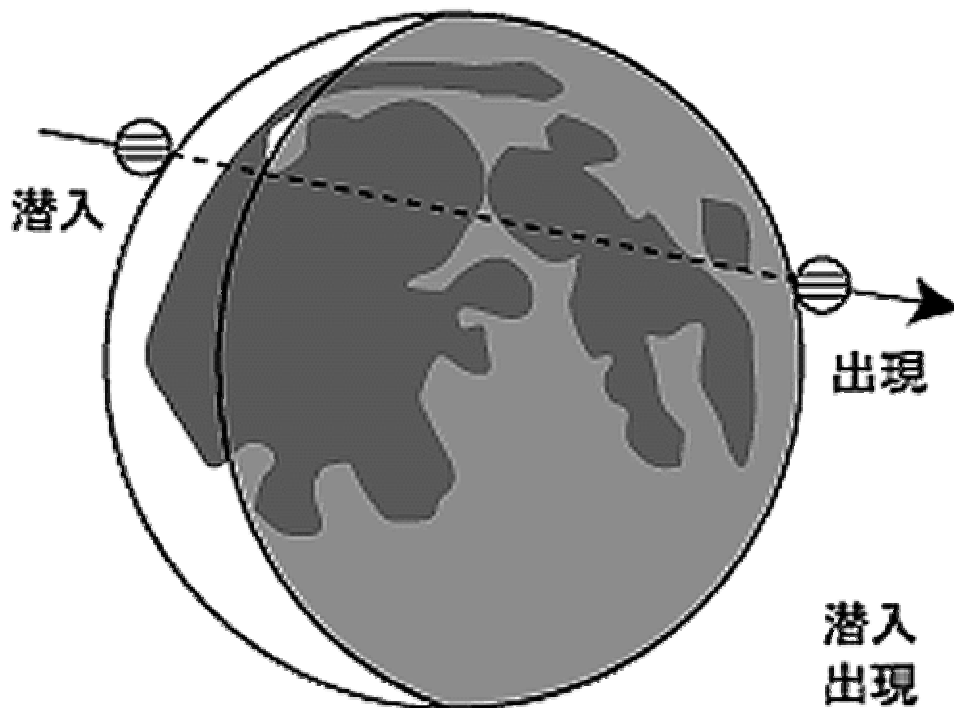
次回は、2002年1月27日に北海道地方で月の入り直前に、木星が月にかくれる現象がありますが、明石では見ることはできません。

明石で見えるのは、2009年2月23日昼間の現象です。

なお、今年10月8日には、東北地方から北で土星食が見えます。

8月16日の木星食(明石)

北



潜入 3時02分
出現 3時53分

南